

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	10 月	18 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	御葉付イチヨウ				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1957年(昭和32) 6月13日				
所在地	宇陀郡曾爾村今井733番地				
所有者 管理者	門僕神社(かどふさじんじゃ)				
員数	1株				
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) 御葉付イチヨウ			(樹齢) 不明	
案内板の状況	有り				
公開	自由(旧村道に面しており樹木保全の為、車の乗り入れは禁止)				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(台風などにより樹木の枝が風貌に折れ勢いが見られない)				
当面の課題	説明板には樹木保全のため、車の乗り入れはご遠慮くださいのコメントも書かれておりイチヨウ樹木を守るため注意喚起が行われている。曾爾村教育委員会の御葉付イチヨウ指示板があるのみで県指定説明板が見当たらない。				
今後の課題	第1印象は少しやせた感じがしたが、話を聞くと「樹木の勢いは年々衰え、4年前に県文化財課指導の下、樹木医による診断を受け幹回りに穴をあけ肥料を入れたり・周りの木々の伐採等を行った。現在樹生はやや回復途中とのこと(曾爾村教育委員会の談)」。樹木は旧村道に面しており門僕神社参拝等での車の出入りが自由に行われているが樹木の周囲を柵などで囲ってもよいと思う。				
その他 (由緒など)	樹齢は不明。門僕神社大鳥居前に繁る御葉付イチヨウは周囲3m、樹高35m。昭和34年の伊勢湾台風時に現在(旧村道)は流され大きな被害を受け新たに道を作る補修時に土を入れ道を盛り上げた。この時イチヨウの幹にも土が覆いかぶさり現在の状態にある(店主談)。				
コメント	中学校に自転車で通学時は、毎日この御葉付イチヨウを見ながら通学していた。先生に御葉付イチヨウを見つけたら知らせしてほしいといわれた記憶がいまだに忘れられない。昔曾爾村で生活していても現物を見たことがなかったが、今回の調査中に偶然に本物(20年前にホルマリン漬けにしたイチヨウの実)と遭遇するとは想像もしていなかったので目にしたときは感激。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	10 月	18 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	石井	中西	橋詰		

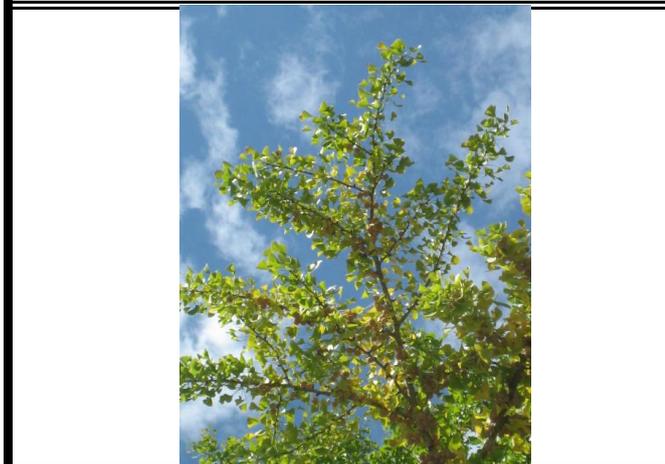
文化財名	御葉付イチョウ
------	---------

説明板	旧村道に立つ御葉付イチョウ
-----	---------------



銀杏の実をつける御葉付イチョウ

対岸からイチョウの全体を眺める



宮司宅保有のホルマリン付けの御葉付イチョウ

商店保有の御葉付イチョウ(持ち主の了解を得て撮影)

